

第 2 1 回山口市議会議会改革検討協議会 会議報告書

開催日時	令和3年1月29日（金） 10:00～10:35				
開催場所	第1委員会室				
出席者	○会 長 山本貴広（県都創生山口） ○副会長 湊 和久（自由民主党山口） ○委 員 馬越帝介、藏成幹也（自由民主党山口）、瀧川 勉、山下 宏（県都創生山口）、村上満典（公明党）、植野伸一（ふるさと共創やまぐち）、氏永東光（高志会）、尾上頼子（日本共産党）、山見敏雄（市民クラブ）、 ○委員外議員 竹中一郎（地域政党 やまぐちの風）				
記録者	書記 金田	欠席者	なし	傍聴	（一般）1人 （報道）1人

以下のとおり概要を報告します。

1 第20回協議会報告書について

- ・副会長から協議内容を説明。出席委員で確認し、修正なし。

2 協議事項

（1）議員定数について

- ・議員定数にかかる以下の答申案（正副会長案）について最終確認を行った。
 - 諮問事項1－1 定数と報酬について（議員定数）
 - 諮問事項2 議員定数について
 - 正副会長案のとおり確認。修正なし。
 - 答申 ※協議会終了後、議長へ答申を行い、記者配布とともにホームページへ公開

（2）政務活動費について

- ・「政務活動費の手引きの改正素案」について各会派からの意見を伺った。
 - 会派からの意見は特になし。素案の内容で進めることを確認。
- ・「広報紙に会派の意見とは別に個人の意見及び挨拶文を掲載すること」について各会派の見解等を伺った。

（主な意見）

- ・今回の手引きの改正で面積按分を基本とするという記載もされたので、これで十分だとは思っている。政務活動費の関係については、これまで社会通念上大丈夫だったとされていたものが裁判で負けるという事例も相次いでいるので、今回の案件についても、手引きに必ず掲載するという話ではなく、議論をし、共通理解はしておくべきであるとの思いから提案した。基本的には、こうした類のものは面積按分とすべきであると思っている。
- ・紙面の大半が挨拶文ではまずいと思うが、大半が政務活動に関わる内容のなかで、ちょっとだけの挨拶文であれば、社会的儀礼ということも考えられなくはないので、あまり

制約をかけなくて良いのかなと思う。個人の意見については、市政への思いを紙面に載せることは政務に関わることで、何ら問題はないと思う。

- ・個人の意見を掲載することは問題ないという認識だが、大小に関わらず、按分は必要と思う。本会議の中で言われた個人の意見を載せることは、それは議会報告ということで政務活動。それ以外の個人の意見は政務活動から外れるので按分という考え方。今後の裁判等の流れを考えると、按分を大前提に考えて、政務活動費からは全額を支出しないというような措置も必要かなとは思う。
- ・面積按分があるから、何でも載せていい訳ではないということは確認しておかないといけない。例えば、自分のスポ少の活動とか、ボランティア活動とかは、政務活動とは全然違うから、そもそも載せてはいけない。

→ 社会通念上、妥当な割合で按分して充当するという素案の（２）の考え方を大前提とし、それぞれが説明責任を果たしながら、広報紙を作成していくことを確認

- ・素案が確認されたことから、政務活動費に関する答申案及び政務活動費の手引き改正案を提示。

→ 各会派に持ち帰り、次回会議にて確認。

3 まとめ及び次回協議に向けた確認事項等

- ・次回の協議内容は、「政務活動費に関する答申案」の確認

※次回は、令和3年3月4日（木）予算決算委員会終了後、開催